

第1回会

医療改革法案の阻止へ

地元選出議員へ要請強める

協会は4月11日、第1回理事会を開き、14日から国会審議が始まる医療改革関連法案の成立阻止のため、「新たな患者負担増をやめ、窓口負担の大幅軽減を求める請願」署名、「新たな患者負担増をやめ、患者申出療養」の撤回を求める医師・歯科医師要請」署名を4月16日、5月21日の中央要請行動で地元議員に提出するなど、当面の運動対策を決めた。4月16日は17人が参加する。

報酬改定ではこれまで2年に一度、秋に開いていた歯科決起集会を、政府予算の編成などを考慮して、「歯と口の健康週間」の初日・6月4日に、「歯は命」健康長寿社会にむけて保険で良い歯科医療を「6・4国会内集会」を開く。集会と前後の議員要請に大阪歯科から30人参加を目標にし、会員にも呼びかけることにした。

地方財政の専門家が語る「大阪市廃止・分割」構想



大阪市の廃止強行を問う住民投票が17日に実施される。地方財政の専門家の目には「大阪市廃止・分割」構想はどう映っているのか。M&Dホールで開いた森裕之・立命館大学教授の学習会の要旨を紹介する。

立命館大学教授 森 裕之氏

「大阪府がカシノ計画の実施主体となれば、住民の抵抗は蚊帳の外に追いやられ、強行することができ、大阪維新の会は『二重行政』の解消で年間4000億円を生み出す」と宣言していたが、データはまったく異なる。

30年で1千億の超赤字事業

カシノ建設の候補地・夢洲への交通網整備には5千億円以上の財政負担を要する。仮に市が賭博場に巨額の税金を投入することになれば、社会保障の拡充を望む市民から猛反発を受けることになる。同構想における福祉施策の担い手は特別

区だ。大阪府がカシノ計画の実施主体となれば、住民の抵抗は蚊帳の外に追いやられ、強行することができ、大阪維新の会は『二重行政』の解消で年間4000億円を生み出す」と宣言していたが、データはまったく異なる。

役員体制・方針決める

大阪市北部地区は3月29日、総会を開いた。2013・14年度活動のまとめ報告、14年度決算、15・16年度活動方針、15年再任した。

病院歯科と連携図る

南河内地区は、4月4日の地区総会で、周術期医療への歯科医院側からのアプローチを強めるため、病院口腔外科と連携する講習会を開いていくことなどを2015年度活動方針として確認した。



大阪市北部地区、同東部地区講習会

インプラントの治療説明

複写式用紙の活用を

「インプラント治療のインフォームドコンセントを考えるートラブルを如何に回避するか？」をテーマにした講習会が3月29日、M&Dホールで開催された。大阪市北部地区総会の記念講演として、同地区が大阪市東部地区と合同で開催した。野阪泰弘氏（芦屋市、野阪口腔外科クリニック）が講演し、32人が参加した。

お話を工夫してインプラント治療の工夫を説明する野阪泰弘氏（3月29日、M&Dホール）

多彩な講習会を報告

大阪市東部地区は3月14日、保険医会館で総会を開き、2014年度の活動のまとめと決算、15・16年度の活動方針と役員体制、15年度予算を確めた。特に北部と共催の講習会を他地区と共催して進めたことを報告した。

大阪市東部地区総会

「口腔外科3回シリーズ」はシリーズをとおし300人近くの会員をむかえ好評をえた。地域社協への積極的な参加や、窓口負担の大幅軽減を求める署名・消費税の引き上げ中止を求める会

新卒・第二新卒DHの採用なら... ハモナビ 学校求人プラン Wのアピール!! リーズナブルに 長期掲載!!